

科目名	SCH101: 人間学Ⅱ					担当教員	浅野 幸
開講期	秋	開講時限	水2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	アイデンティティー、尊厳、隣人、弱さ、生きがい、希望、対話						
授業の概要	人間学Ⅰに続いて、キリスト教ヒューマニズムの求める人間の在り方を探求する。聖書に描かれた人間像や、現代社会が直面する様々な問題を通して、人間の現実を直視するとともに、毎回のテーマに即して人間性への考察を深め、希望をもって生きるための方途を各自の成長課題に重ねて模索する。						
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教ヒューマニズムの人間観を通して、自己や他者のかけがえのなさ、「人間の尊厳」について理解し、理解したことを、具体的な問題を通して考えることができるようになる。 ・現代社会に生きる人間が直面するさまざまな問題や、その背景を知り、自分たちの生活や生き方と関連付けて考えることができるようになる。 ・人間が愛され、愛する存在であることを他者に伝えるために、自分には何ができるのかを、各自の成長課題に引き付けて明確化することができるようになる。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・聖書の伝える人間観について理解し、感想や考えをまとめ、わかりやすく他者に伝えることができるようになる。他者との分かち合いを通して、自分の考えを明確化することができるようになる。 ・現代社会の提示するさまざまな問題の具体的な事例を知り、他者との意見交換を通して、解決に向けての自己の見解を述べるようになる。 ・期末レポートにおいては、授業での学習から問題として浮かび上がったことを明示し、さらなる調査・学習を通して考察を展開し、小論文形式でまとめられるようになる。 						
評価方法	リアクションペーパー（30%）、授業内のディスカッションや発表、質疑への積極的参加（30%）、期末レポート・3000字以上（40%）。						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパー：講義で提示された問題を理解し、自分の言葉で考察や質問を展開できているか。 ・授業への積極的参加：話し合いの中で自分の意見を述べているか。司会や記録、発表の役割を適切にはたしているか。 ・レポート：テーマや問題意識を明示しているか。具体的な事例を挙げたり、文献を参照するなどして、自分の言葉で考察を展開しているか。主張の根拠を示しているか。 						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要、方法についての説明。自己紹介。	講義。グループ分け。	人間学Ⅰを通して、人間について学んだ事を記述する。
2	私は何者かという問い（1）ジェンダー・アイデンティティー	講義。資料視聴。ディスカッション。	事前課題の設問にそって考察をまとめる。
3	私は何者かという問い（2）ナショナリティーとヒューマニティー	講義。資料視聴。ディスカッション。	事前課題の設問にそって考察をまとめる。
4	私は何者かという問い（3）将来に向かって。仕事と家庭。	講義。ディスカッション。	事前課題の設問にそって考察をまとめる。
5	聖書に学ぶ人間像（1）旅人である人間。	講義。ディスカッション。	聖書の指摘箇所を読み、感想をまとめる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	聖書に学ぶ人間像（2）人間の弱さ。	講義、ディスカッション。	聖書の指摘箇所を読み、感想をまとめる。
7	聖書に学ぶ人間像（3）赦しと解放。	講義、ディスカッション。	聖書の指摘箇所を読み、感想をまとめる。
8	聖書に学ぶ人間像（4）隣人であること、友であること。	講義、ディスカッション。	聖書の指摘箇所を読み、感想をまとめる。
9	世界からの問いかけ（1）移動する人々と人としての権利。	講義、資料視聴、ディスカッション。	難民、移動労働者の抱える問題を探してくる。
10	世界からの問いかけ（2）貧窮する人々と私たちの生活。	講義、資料視聴、ディスカッション。	貧困に由来する問題を探し解決案を想像してくる。
11	世界からの問いかけ（3）弱い立場にある人々と共生社会の可能性。	講義、資料視聴、ディスカッション。	「弱い立場」にある人が抱える問題を探してくる。
12	対話する存在である人間（1）他者とのかわりと言葉。	講義、ディスカッション。	レポートの作成、提出。
13	対話する存在である人間（2）自己との対話、神との対話。	講義、ディスカッション。	プリントを読み、感想をまとめる。
14	レポートの発表と質疑応答。	発表、質疑応答。	発表の準備。
15	発表の続き。まとめ：今を生きるということ。	発表、質疑応答。講義	発表の準備。

テキスト	聖書
参考書	ホアン・マシア『限界の哲学』（南窓社）、神谷美恵子『生きがいについて』（みすず書房）。その他、各回のテーマに即して適宜紹介する。
その他特記事項	問題意識をもって、積極的に授業に参加してください。